

FOStEX

製品仕様書

製品名

リファレンスマニタースピーカーシステム

RS-N2

2017年4月修正版

フォスター電機株式会社
フォステクスカンパニー

〒196-8550

東京都昭島市つつじが丘一丁目1番109号

TEL:042-545-6111 (代) / FAX:042-546-6067

1. 適用

本仕様書は「リファレンスマニタースピーカーシステム RS-N2」について適用し、以下に述べる構成、構造、定格を有する。

2. 構成

2.1:スピーカー部 (Woofe-Squawker-Tweeter* 3Way バスレフレックス式)

* 以降の記載につきましては次の様に略します。 Woofer→WF / Squawker→MID / Tweeter→TW

2.2:アンプ部 (アキュフェーズ社製 PRO-30(N)特注仕様 2Wayマルチチャンネル構成)

2.3:スピーカーケーブル (端子ノイトリック社製スピコン4P NL4FX-NL4FRX、標準長さ 1.2m)

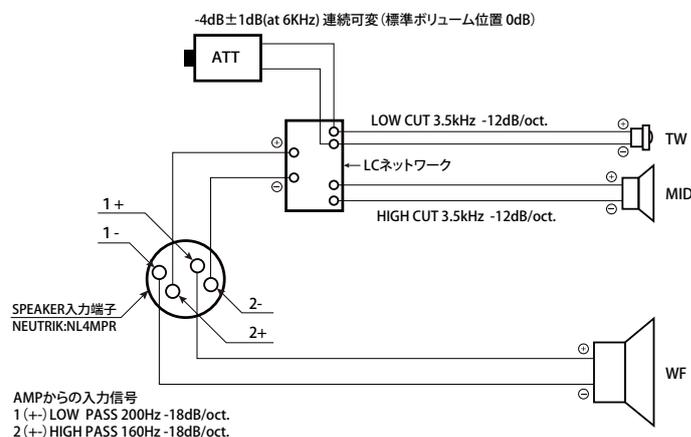
3. 定格

3.1:総合特性

- 3.1.1:周波数特性 50~20,000Hz ±3dB ※別紙総合周波数特性図頁を参照
 3.1.2:最大音圧レベル 118dB (SPL: 1m /rms)
 3.1.3:クロスオーバー周波数 WF 200Hz Low Pass -18dB/oct. (アンプ内蔵フィルター)
 WF-MID 160Hz Low Pass -18dB/oct. (アンプ内蔵フィルター)
 MID-TW 3.5kHz High Cut & Low Cut -12dB/oct. (スピーカー内蔵LCネットワーク)
 3.1.4:アンプ入力アッテネーター位置 A ch (WF) : 0dB / B ch (MID-TW) : -2.5dB
 ※A ch (WF) に対してB ch (MID-TW) : が-2.5dBの相対位置で標準特性が得られます。

3.2スピーカー部

- 3.2.1:エンクロージャー方式 3Way バスレフレックス式
 3.2.2:インピーダンス $8\Omega \pm 15\%$ at 800Hz
 3.2.3:出力音圧レベル $92\text{dB} \pm 2\text{dB} / \text{W/m}$ (at 250Hz, 300Hz, 400Hz, 500Hz Ave.)
 3.2.4:周波数特性 50~20,000Hz ±3dB
 3.2.5:反共振周波数 28Hz ±6Hz
 3.2.6:定格入力 80W (EIAJ) / 24H.
 3.2.7:瞬間最大入力 300W (EIAJ) / 1Min.
 3.2.8:ユニット構成
 WF 30cm口径 HP形状振動板
 MID 13cm口径 HP形状振動板
 TW 20mm口径 ハードドーム形状振動板
 3.2.9:中高域感度調整 -4dB ±1dB (at 6KHz) 連続可変 (標準ボリューム位置 0dB)
 3.2.10:最大外形寸法 横幅500×高さ830×奥行490 ±5mm (グリルネット脱着時)
 横幅500×高さ830×奥行508 ±5mm (グリルネット装着時)
 3.2.11:質量 75kg ±5%
 3.2.12:スピーカ外觀図 別紙スピーカ外觀図頁を参照
 3.2.13:入力端子 ノイトリック社製スピコン4P NL4MPR (A ch: 1+ / 1-, B ch: 2+ / 2-)
 3.2.14:スピーカ配線図



リファレンスマニタースピーカーシステム RS-N2

適用・構成・定格

1/6 頁

3.3 アンプ部 (アキュフェーズ社製 PRO-30 (N) 特注仕様)

3.3.1: 定格出力	300W+300W (A ch-B ch使用 / 8Ω負荷時)
3.3.2: 高調波歪率	0.2% (A ch-B ch使用 / 8Ω負荷時)
3.3.3: IMひずみ率	0.05%
3.3.4: ゲイン (利得)	32.0dB (Ach-Bch使用時)
3.3.5: 周波数特性	20~20,000Hz +0/-0.2dB (連続平均出力) 0.5~150,000Hz +0/-3.0dB (1W出力時、レベルコントロールMax) 0.5~120,000Hz +0/-3.0dB (1W出力時、レベルコントロール-6dB)
3.3.6: 負荷インピーダンス	2~16Ω
3.3.7: ダンピングファクター	150 (8Ω負荷、50Hz)
3.3.8: 入力感度 (8Ω負荷)	1.23V (定格出力時) / 0.71V (100W出力時)
3.3.9: 入力インピーダンス	16kΩ (平衡)
3.3.10: S/N比	114dB (A補正、入力ショート、定格出力時)
3.3.11: 入力信号表示	入力レベル10mV以上で点灯
3.3.12: 出力レベルメーター	設定 (0dB/8Ω負荷) 300W LED表示 0、-3、-16dB CLIP表示 0dB+1.3dB
3.3.13: 入力レベル・コントロール	0~-8dB間 0.5dBステップ -8~-20dB間 1dBステップ、および-∞
3.3.14: クロスオーバーフィルター	A ch 200Hz Low Pass -18dB/oct. B ch 160Hz High Pass -18dB/oct.
3.3.15: 入力端子	XLRタイプコネクタ (XLR-3-31及びXLR-3-32相当品)、A ch、B chに各2系統搭載 ピンアサイン 1: グランド、2: ホット、3: コールド
3.3.16: 出力端子	ノイトリック社製スピコン4P NL4MP (A ch: 1+/1-, B ch: 2+/2-)
3.3.17: 冷却方式	自然空冷方式
3.3.18: 電源	100V, 50/60Hz
3.3.19: 最大消費電力	700W
3.3.20: 外形寸法	横幅482.5mm×高さ (脚含む) 148.5mm×奥行490mm
3.3.21: パネル寸法	横幅482.5mm×高さ132mm×奥行6mm (3Uサイズ)
3.3.22: 質量	23.0kg
3.3.23: 外観	別紙アンプ外観図頁を参照

4. 試験

4.1: 動作試験

正弦波 (0.18V at 800Hz) の入力を加え、再生周波数帯域内掃引し異常音が無いこと。
音質、音量、歪み、その他全般において動作に異常を認めない事。

4.2: 極性

入力コネクターの端子 (+/-) の間に + 端子が正となるように電圧を与えたとき振動板は前方に動く事。

4.3: 周波数測定試験

JIS C5532に準じる。

ただし、測定マイクの位置はエンクロージャ正面中心で底面から536mm (MID中心) 上がった点を基準点とし、基準点から基準軸上1m離れた点を標準とする。

4.4: 定格インピーダンス、反共振周波数測定試験

測定値が仕様内であることを確認する。

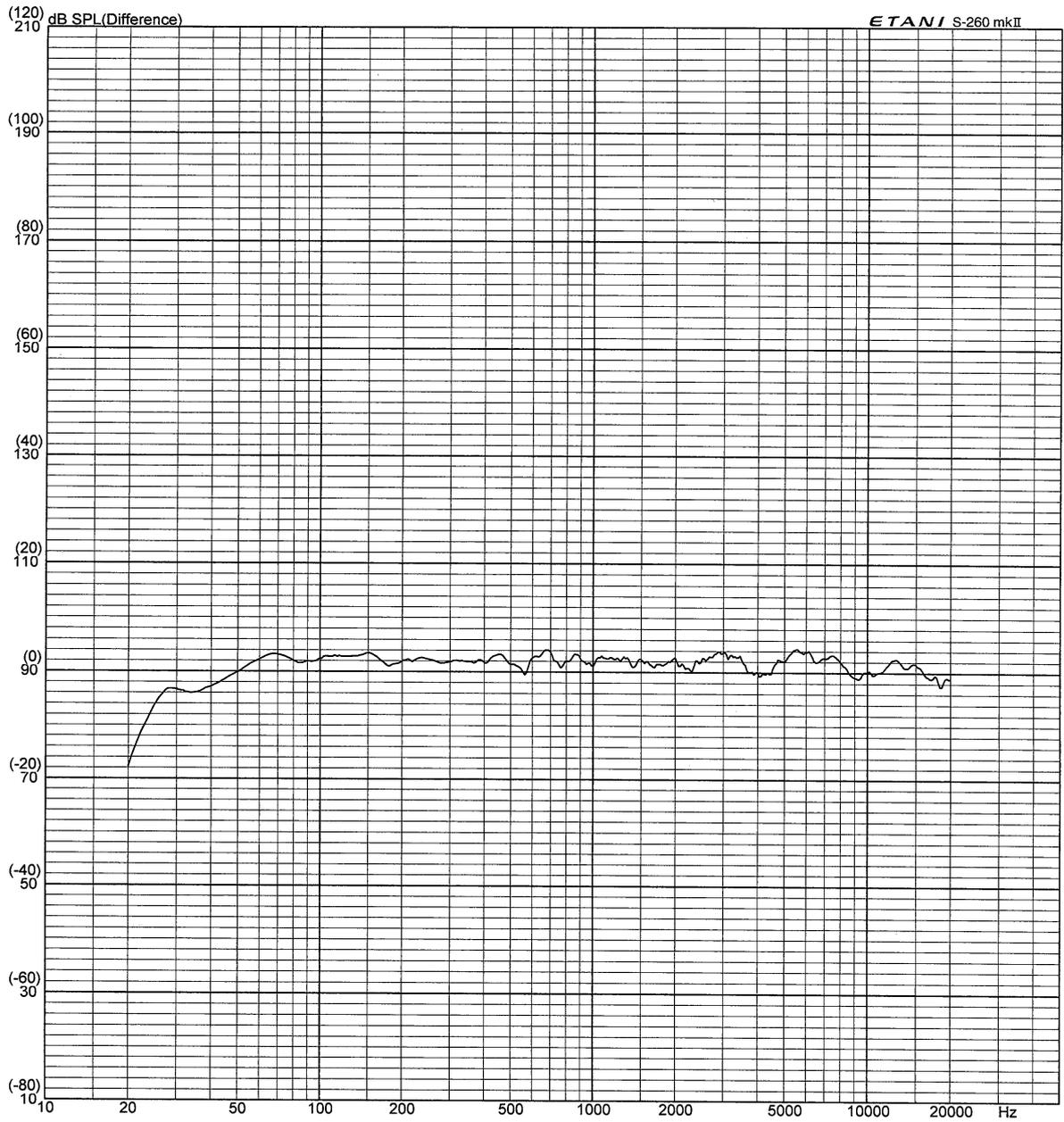
4.5: 一般試験

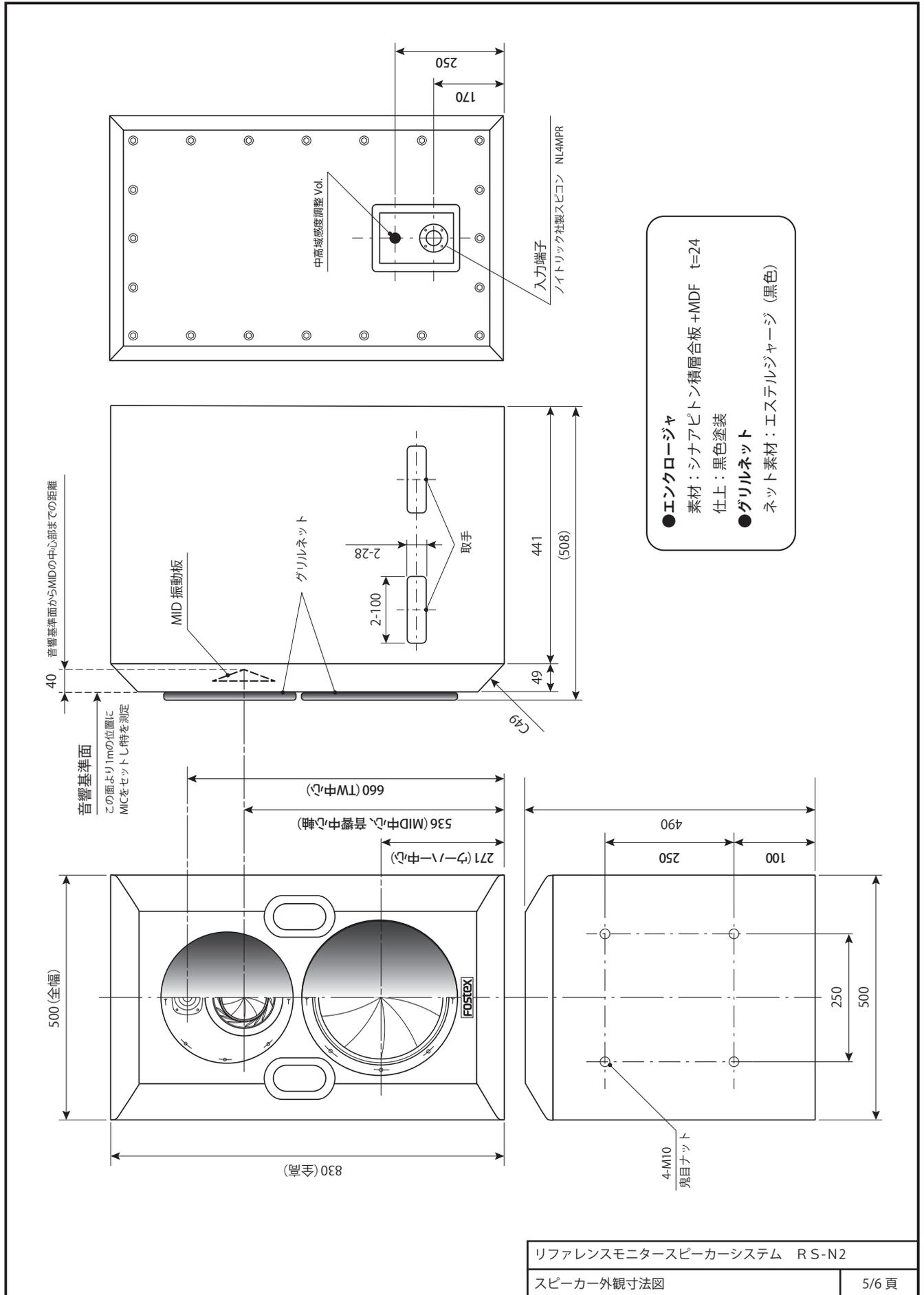
外観、重量、外形寸法が仕様内であることを確認する。

5. 付属品

スピーカーとアンプを接続するためのケーブル (端子スピコン: ノイトリック社製NL4FX-NL4FRX) が付属する。

標準ケーブル長さは1.2m (特注専用スタンドE型使用時) で、標準以上の長さは特注にて対応可能であるが3.5mを最長とする。





リファレンスモニタースピーカーシステム RS-N2

スピーカー外観寸法図

Accuphase

PRO-30

